

● 施工完了後の確認

1. 施工の再確認

全ての施工完了後、再度接続部の締め付けを確実に行ってください。配管接続部及び水栓からの水漏れがないか再度確認してください。

2. 整流器のゴミづまり除去方法 (図5)

- (1) 開閉ハンドルを左に回して止水状態にしてください。
- (2) 整流器のキャップを手で左に回しゆるめてください。
- (3) 整流網のゴミをとりぞいでください。

※新製品にはシールテープ、グリス等が付着していることがあります。よく水洗いしてください。

3. 温度設定の調整 (図6)

お使いいただく現場で適温が得られるか温度を測定してください。適温が得られない場合は以下の方法で調整してください。

※ストレーナーのごみづまり、止水栓の開栓、高い温度の供給等を確認してください。

- (1) 温度調整ハンドルのキャップを左回しで取り外し、化粧リングを引き抜き、「緑色のリング」を広げながら取り外します。
- (2) 温度調整ハンドルを引き抜き、温調インサートをマイナスドライバー等で40℃の温度が得られる位置まで回してください。
- (3) 温度調整ハンドルを温度目盛「40」と本体の温度位置マークが合わさるように差し込んでください。
- (4) 温度調整ハンドルに「緑色のリング」を取り付けて、化粧リングを差し込み、キャップを右回しで取り付けてください。

● 寒冷地にて使用する場合

1. 設置条件

不凍結栓等を設置した寒冷地使用配管設備でないとは使用できません

2. 水抜き方法 (図7)

- (1) 屋外の給水栓を閉じ、不凍結栓を開放してください。
- (2) 水栓の開閉ハンドルを、右に回して開栓状態としてください。
- (3) 温調ハンドルを40℃位置にしてください。
- (4) 寒冷地インレットの水抜き栓を手で回して開栓としてください。
- (5) 水栓の開閉ハンドルを、左に回してシャワーヘッドを振って水をよく切った上、静かに床に置いてください。

※再通水前に水抜き栓を開め、開閉ハンドルを開めてください。シャワーヘッドは元の位置にもどしてください。

図5

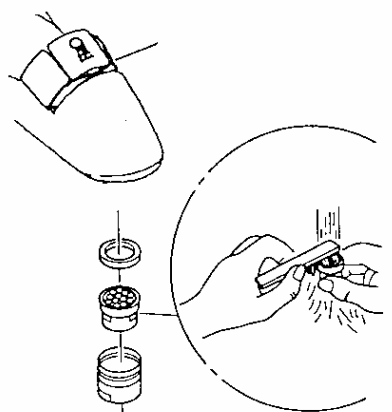


図6

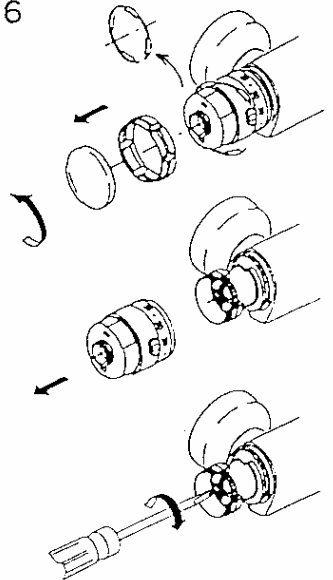
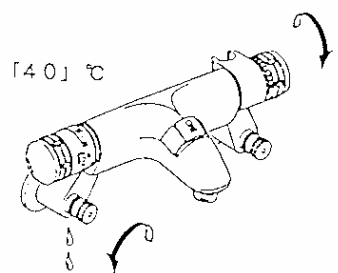


図7



GROHE

WATER TECHNOLOGY

サーモスタット バス シャワー 混合水栓

機種名	一般地用	寒冷地用
キアラ	34477	34477K
キアラ	34629	34629K

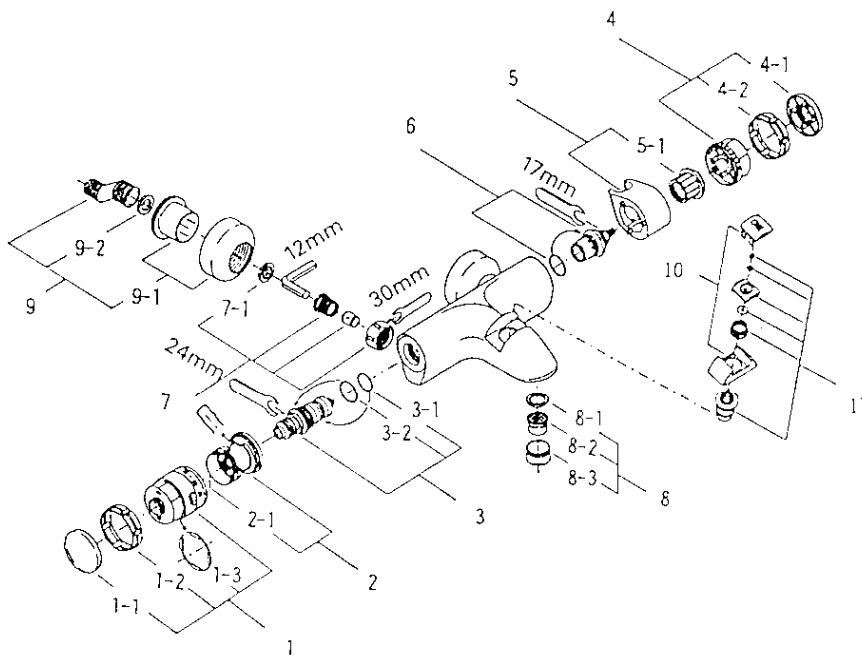
施工説明書

施工業者用

- 施工の前に、この「施工説明書」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がないことを確認すると共に、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方等をご説明ください。
- 「施工説明書」と「取扱説明書」は、お客様が保管頂くようにご依頼をお願いします。

● 外観図と付属品

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



1	温度ダイヤル
1-1	キャップ
1-2	化粧リング
1-3	「緑色のリング」
2	ストップホルダー
2-1	温度インサート
3	サーモスタット
3-1	調整リング
3-2	Oリング
4	開閉ハンドル
4-1	キャップ
4-2	化粧リング
5	スリーブ
5-1	六角ナット
6	ヘッドパーツ
7	逆上弁付袋ナット
7-1	ストレーナー
8	口金(エアレーター)
8-1	パッキン
8-2	整流網
8-3	キャップ
9	インレット
9-1	フランジ
9-2	取付パッキン
10	切替ノブ
11	切替弁

●安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した△注意は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。



注意……

「この指示を無視して誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。」

■記号の説明



……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）



……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

△注意



湯水を逆配管しない。

左湯 右水

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとして、湯が出てやけどをすることがあります。



給湯に蒸気を使わない。

給湯に蒸気を使用しないでください。

※高温の蒸気によりやけどをするおそれがあります。
器具破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。



スチームルームでは使用しない

スチームルームでは使用しないでください。
※器具破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。



止水栓を設置する。

必ず止水栓を設置してください。

※水量の調節ができないと通常の使用が出来ず、温度調節時、突然高温になりやけどをすることがあります。



施工完了後の確認

施工完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れのないこと、レバーが閉じていることを確認してください。

※漏水で家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。



寒冷地の水抜き
(寒冷地用)

お客様に引き渡す迄は必ず元栓を閉じて、内部の水を抜いておいてください。

※特に冬季は凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

●施工

1. 施工の前に

工事の時は、配管内にゴミや鉄クズ等がたまっていますので、取り付け前に配管のみで水を流すか或は他の場所で水を流すか等のことを行い、十分にゴミをとり除いてください。

2. インレットの取り付け（別紙参照）

12001用の場合（図1）

- ① インレット配管ネジ部にシール剤（シールテープ）等を使用し湯水配管に右回しにネジ込みます。同時に湯側と水側のインレット本体取付ネジ部の間隔を中心間の距離で 150ミリになるよう調整しながらネジ込んで固定してください。
- ② インレット本体取付ネジ部にフランジを壁面にあたるまで右回しにいっぱいまでネジ込んでセットしてください。

12044または寒冷地用の場合（図2）

- ① インレット配管ネジ部にフランジを右回しにいっぱいまでネジ込んでセットしてください。
- ② インレット配管ネジ部にシール剤（シールテープ）等を使用し湯水配管に右回しにネジ込みます。同時に湯側と水側のインレット本体取付ネジ部の間隔を中心間の距離で 150ミリになるよう調整しながらネジ込んで固定してください。
- ③ フランジを壁面にあたるまで右回しにいっぱいまでネジ込んでセットしなおしてください。

3. 本体の取り付け

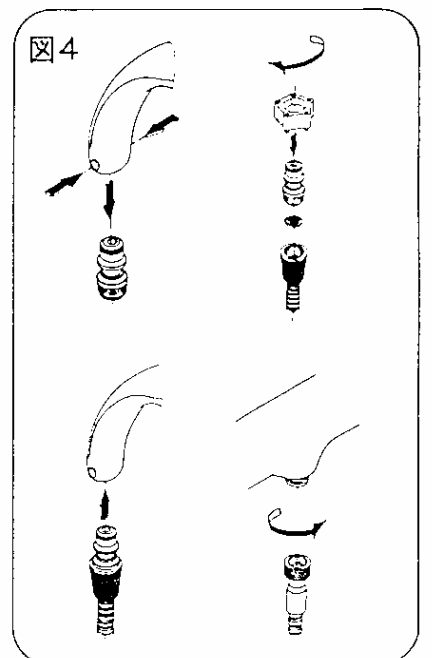
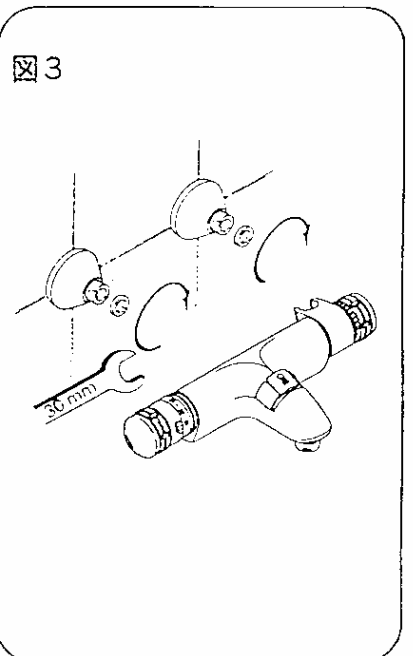
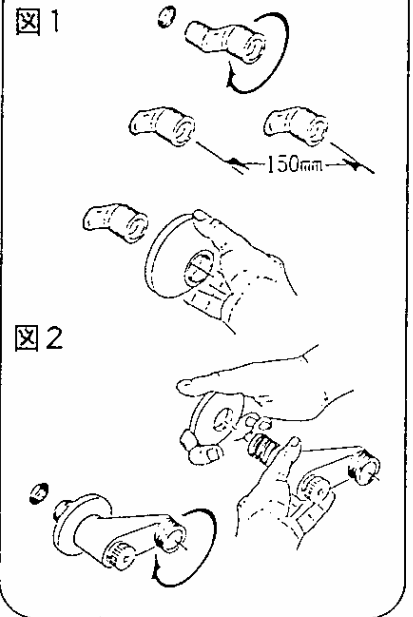
一般地用・寒冷地用（図3）

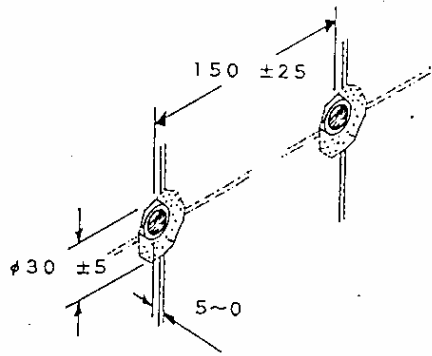
- ① 本体湯水の袋ナットに付属品のストレーナーパッキンをはめ込んでください。
- ② インレット本体取付ネジ部に本体湯水の袋ナットを交互に少しづつ右回しにいっぱいまでネジ込み、工具（30ミリスパナ）等で完全に締め付けてください。

4. シャワーヘッド・ホースの取り付け（図4）

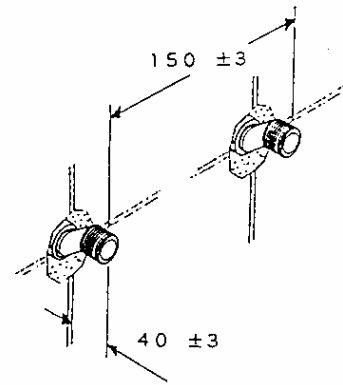
- ① シャワーヘッド本体下部の両側のボタンを押しながら接続ニップルを引き抜いてください。
- ② ホーステーパ（フック取付用）袋ナットに接続ニップルを右回しにいっぱいまでネジ込んで締め付けてください。
- ③ ホース袋ナットを本体ホース接続部に右回しにいっぱいまでネジ込んで締め付けてください。
- ④ シャワーヘッド本体を接続ニップルに差し込んでください。

★ご注意：取付後ホースにねじれがないことを確認してください。

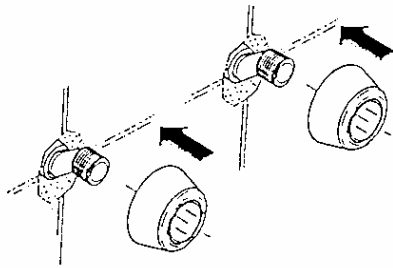




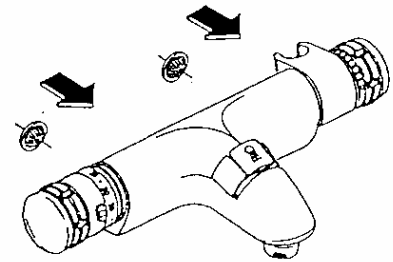
- ① 配管の埋込寸法は、仕上げ面より5ミリ壁側に入るようにして下さい。湯水配管の間隔は、150ミリとしてください。



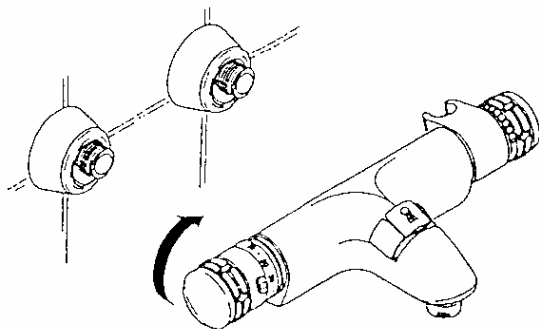
- ② インレット配管ネジ部にシール剤（シールテープ）等を使用し湯水供配管に右回しに仕上げ面より40ミリのところまでネジ込みます。同時に湯側と水側のインレット本体取付ネジ部の間隔を中心間の距離で150ミリになるよう調整しながらネジ込んで固定して下さい。



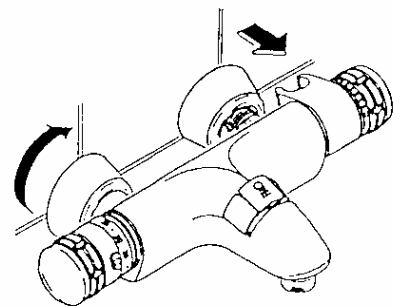
- ③ インレット本体取付ネジ部にフランジをセットしてください。



- ④ 本体湯水の袋ナットに付属品のストレーナーパッキンをはめ込んでください。



- ⑤ インレット本体取付ネジ部に本体湯水の袋ナットを交互に少しずつ右回しにいっぱいまでネジ込み、工具（30ミリスパナ）等で完全に締め付けてください。



- ⑥ フランジを本体湯水の袋ナットまでずらし壁面にあたるまで右回しにいっぱいまでネジ込んでください。